

## 令和6年度第1回 学校運営協議会開催

令和6年7月9日

本年度第1回の学校運営協議会を本校会議室にて開催しました。本年度学校運営協議会委員7名中6名にご出席いただきました。本会委員様及び事務局の紹介並びにコミュニティスクール（学校運営協議会規則）について事務局から説明させていただいた後、規則に則り、昨年度に引き続き会長に和歌山大学学長補佐、林修委員、副会長に一般社団法人ウィンワークス代表理事、西芳男委員を互選いただき、会長を議長とし、報告や意見交換、質問等を行いながら、「協議の柱（設計図）」を中心に協議いただきました。

まず、本年度の学校概要並びに学校運営方針、地域コミュニティの考え方、本校の「地域」の捉え方、大学附属校としての任務役割、並びに本校の教育活動の特徴等について学校長から説明を行った後、本年度の学校経営計画について委員の皆様から、質疑応答並びにご意見を頂戴しました。協議の後、最後に委員様全員に、学校経営方針についてご承認をいただきました。

方針については、①子供たち（保護者）にとって安心安全が学校を大切に、②時代、社会の変化が著しい中「不易」と「流行」を常に基本におさえ、子供たちが今も学校卒業後もよりよく生きるための学習（個別最適で社会に開かれた教育課程の捉え方）、③本校の特色（授業づくり）、④大学を活用したプロジェクト新規事業等について⑤高等部普通科コース制の一本化とカリキュラムマネジメント、を中心に説明及び協議の柱とした。

委員様より、「学校経営方針としてPDCAを共通理解して運営する方向性は賛同する」「地域自治会として、自治会活動に学校施設をお借りできることはありがたい。自治会でも登下校の見守りはしっかりしていきたい。」「弊社に入社している和附特の卒業生はととても頑張ってくれている。」「学校運営方針や学校経営計画の中に大切にしなければいけないことがたくさん盛り込まれていると感じた。」「進路の問題として来年度から就労選択支援の制度が始まる。就労アセスメントを早めに計画していくことが必要。」「コース制の一本化は賛成。子供の学びが広がる」などご意見を多数頂戴しました。

また、学校の喫緊の課題である「教員（補充）や職員（給食調理員）の確保に苦慮している」ことについて、様々な角度からご意見を頂きました。

